

2025 年 6 月 2 日

各 位

会 社 名 科 研 製 薬 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 堀内 裕之
(コード番号 4521 東証プライム市場)
問合せ先 広 報 I R 部 近藤 康彦
(TEL. 03-5977-5002)

同種（他家）滑膜間葉系幹細胞由来三次元人工組織「gMSC®1」に関する ライセンス契約の締結について

科研製薬株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：堀内 裕之、以下「科研製薬」）は、株式会社ツーセル（本社：広島県広島市、代表取締役社長：松本 昌也、以下「ツーセル」）が、創製した同種（他家）滑膜間葉系幹細胞由来三次元人工組織「gMSC®1」（以下「本製品」）に関するライセンス契約を締結しましたのでお知らせいたします。

本契約締結により、科研製薬は日本国内の整形外科領域における本製品の共同開発権、独占的販売権を取得します。また、科研製薬はツーセルに対して契約一時金および当該開発に係る開発費用、開発と販売マイルストーンと合わせて最大約 70 億円を支払うとともに、上市後、売上額に応じたロイヤルティを支払います。

今後、本契約に基づき、科研製薬による支援・協力の下、ツーセルは本製品の日本国内における再生医療等製品としての製造販売承認の取得に向けた開発を進めてまいります。製造販売承認の取得後、ツーセルからの供給を受け、科研製薬が本製品の販売を行う予定です。

科研製薬は、患者さんの健康寿命延伸に貢献すべく、「長期経営計画 2031」¹⁾における研究開発 **Transformation** の中で、再生医療の実現化を目指し、新たなモダリティに取り組む専門企業との協業の可能性を検討してまいりました。ツーセルとともに本製品の再生医療等製品としての開発を推進することにより、整形外科疾患を有する患者さんに新たな治療選択肢をいち早くお届けできるよう努めてまいります。

1) 科研製薬「長期経営計画 2031」：https://www.kaken.co.jp/invest/policy/long_term.html/

以上

【株式会社ツーセルについて】

株式会社ツーセルは、2000 年～2003 年の JST プレベンチャー事業「骨・軟骨組織の再生療法チーム」を基盤として、2003 年に起業した広島大学発のバイオベンチャー企業です。再生医療の普及を目指し、体性幹細胞の一種である MSC をターゲットとし、MSC 周辺の培養技術や再生医療製剤の開発に取り組んでいます。これまでに「MSC 用無血清培地 STK®シリーズ」の開発、外傷性軟骨損傷および離断性骨軟骨炎を対象とした同種（他家）滑膜間葉系幹細胞由来三次元人工組織「gMSC®1」の開発を進め国内第 3 相臨床試験を実施しています。詳細は <http://www.twocells.com/> をご覧ください。

【同種（他家）滑膜間葉系幹細胞由来三次元人工組織「gMSC[®]1」について】

gMSC[®]1 は、ツーセルが開発を進めている滑膜由来の間葉系幹細胞（Mesenchymal Stem Cell : MSC）を用い、欠損した部位の軟骨の修復を目的に創製した再生細胞治療製品です。この製品は、ツーセルが所有している技術および無血清培地（STK[®]1、STK[®]2）を用いて創製された同種（他家）MSC の三次元人工組織（スキャフォールド添加を必要としない）であり、欠損した部位の軟骨の修復に有効な治療法を提供することが期待されています。

注意事項:

このニュースリリースに記載されている当社グループの事業に関する将来の見通し等の記述は、現時点で入手可能な情報から予測したものであり、今後の様々な要因により実際の結果とは異なる可能性があります。また、このニュースリリースに含まれている医薬品（開発中のものを含む）に関する記述は、宣伝、広告等や医学的アドバイスを目的としたものではありません。